注意一秒 ケガ一生

春の交通安全運動始まる

春の全国交通安全運動は、五月十一日（土）から五月二十日までの十日間にわたつて行なわれます。この運動は、すべての県民に正しい交通のあり方と交通安全の思想を周知徹底し、県民の総力をあげて交通道徳の高揚と交通秩序の確立をはかろうというもの。そこで富士鷹岡地区の交通安全協会富士地区支部、富士警察署が主体となつて

①正しい運転の遵守　②正しい歩行の励行　③児童・幼児の安全確保　④雇用者等の義務観念の向上　⑤踏切の安全通行の徹底　⑥交通環境の整備

などの六項目をかかげ強く市民に呼びかけています。

児童を交通事故から守る

青葉若葉とともに街頭には、新しいものづくめの新入学の児童や園児の姿がみられます。昨年中に起きた県下の児童の事故は一八二二件で、このうち六二人が死に、一、七九四人がけがをするという驚くべき数を示しています。

事故の原因は

(1)急に道路に飛び出す

(2)ひとり歩き

(3)路上での遊び

などが主なもので、いたげないだけに一層悲惨であり、かわいそうであります。

保護者やおとなたちがもつと気をつければこのような事故は必ず減つていくはずです。

そこで保護者は

(1)友だちと道を歩くときは横に並んで歩いたり、ふざけながら歩かないように注意してやる。

(2)だれにも目につくように黄色い帽子や上衣を身につけるようにしてやる。

(3)あぶなくない通学路をいつしよに歩いて教えてやる。

(4)少し早目に家を出してやるなどに十分に気を配つてやつて下さい。

行楽期の交通事故をなくそう

冬の寒さから解放されて、だれもが五月の太陽のもとに、活動的になります。

町には人があふれ、レジヤーを楽しむ人々等で、いたるところ交通が混雑してきます。例年この時期になると急にふえて、悪質しかも大きな事故が社会の耳目をひいております。

昨年四月に起きた県下の交通事故は、

発生件数　一、九三三件に対し死者　三九名　傷者一、一二〇名

で、春の行楽期は、夏や年末とならんで交通事故のもつとも多くなる季節となつています。

交通事故の直接の原因は

(1)徐行違反

(2)追い越し不適当

(3)連続進行

等のスピードの出しすぎが、圧倒的に多い。

歩行者の事故の原因は

(1)車の直前直後の横断

(2)幼児のひとり歩き

などが大半で、車を運転する人も歩く人もこの季節の影響で、つい気分がゆるみがちになることも、大きな原因の一つと思われます。

このような春の行楽期にふえる交通事故を防止するため、次のことを必ず守つて下さい。

車を運転する人は

(1)自己の運転技倆を過信することなく、ゆとりをもつた運転を心がける。

(2)車を使つての旅行は、思い切つて余裕のある計画をたてる。

(3)絶対に飲酒運転をしない。そして運転する人には、酒をすすめない。

お願い！

「広報ふじ」の綴込み表紙ができましたので市内全世帯に一枚あて漏れなく配布します。毎月とじ込んで保存しておきましょう。なおこの表紙にあります「退庁後の市役所の専用電話番号」が次のとおり変りましたのでご面倒でも左の表を切り取つて貼つて下さい。

切……取……線

退庁後の電話は必ず下記の専用電話を利用下さい

着信専用（宿直室）	2	3 0 0 0 0 0 0 番
市民課	2	3 0 0 0 1 2 3 番
総務課	2	3 0 0 0 4 5 6 番
市長公室	2	3 3 0 0 0 0 7 番
土木課	2	3 3 0 0 0 0 8 番
水道課	2	3 3 0 0 0 0 0 番
議会事務局	2	3 3 0 0 0 0 0 番
税務課	2	3 3 3 3 3 3 3 番
教育委員会	2	3 3 3 3 3 3 3 番

発行所　静岡県富士市役所・発行兼編集　市長公室・印刷所　加藤印刷KK